

こぞうさんの おきよう

新美 南吉
にいみ なんきち

やまでらの おしろうさんが びょうきになりま
したので、かわりに こぞうさんが だんかへ おき
ようを よみに いきました。
おきようを わすれないように、こぞうさんは み
ちみち よんで いきました。

キミヨ
ムリヨ
ジュノ
ライ

すると なたねばたけの なかに うさぎが いて、
「こぼうず あおぼうず。」
と よびました。

「なんだい。」

「あそんで おいきよ。」

そこで、こぞうさんは うさぎと あそびました。
しばらく すると、

「やつ しまった。おきようを わすれちゃった。」
と こぞうさんが さけびました。

すると うさぎは、
「そんなら おきようの かわりに、

むこうの ほそみち
ぼたんが さいた

と おうたいよ。」

と おしえました。

こぞうさんは だんかへ いきました。そして、う
さぎの おしえて くれたように、ほとけさまの ま
えで、

むこうの ほそみち

ぼたんが さいた

さいた さいた

ぼたんが さいた

と かわいい こえで うたいました。

きいて いた ひとびとは びつくり して 目を

ぱちくり させました。それから くすくす わらい

だしました。こんな かわいい おきょうは きいた

ことが ありません。

そこで、ごほうじが すむと、だんかの ごしゅじ
んは すました かおで、

「はい、ごくろうさま。」

と、おまんじゅうを こぞうさんに あげました。

「ごちそうさま。」

と こぞうさんは おまんじゅうを いただいて た
もとに いれました。

こぞうさんは、かえりに その おまんじゅうを、
さっきの うさぎに わけてやる ことを わすれま
せんでした。

「こぞうさんの おきょう」

※『新装版 新美南吉童話集
1 ごん狐』(2012年12月1日、
大日本図書株式会社)の「こぞ
うさんの おきょう」をもとに
一部、漢字表示とルビを編集し
ました。

※このテキストを個人的に読
む以外の利用をされる場合に
は、新美南吉記念館までご連絡
ください。(TEL: 0569-26-
4888)